

～お客様の安全・安心を確保します～

## 大規模災害発生時に改札口ディスプレイを用いて 災害に関する情報をお伝えいたします

— 平成 25 年 2 月 8 日より運用開始 —

東京メトロ(本社:東京都台東区 社長:奥 義光)では、一昨年に発生した東日本大震災のような大規模災害が発生した際に、改札口ディスプレイを用いてお客様へ災害に関する情報をお伝えできるようにします。運用開始は、平成 25 年 2 月 8 日(金)です。

一昨年に発生した東日本大震災では、その災害の大きさから、たくさんのお客様が家族の安否を心配し、災害の発生状況や被災状況について情報を収集されました。このため、大規模災害が発生した際に、メトロが管理する全駅(169 駅※1357 台※2)に設置されている改札口ディスプレイに日本放送協会(NHK)が放映する非常災害時緊急放送を放映し、災害に関連する情報を迅速にお伝えすることにより、お客様の情報収集にご活用いただけます。

東京メトロでは、大規模浸水や大地震等の自然災害による被害を未然に防ぐための対策はもちろんのこと、大規模災害発生時においてもお客様の安全を守るために、今後も様々な取り組みを行ってまいります。

※1 他社に管理を委託している駅(北千住駅(日比谷線)、中目黒駅、中野駅、西船橋駅、代々木上原駅、和光市駅、渋谷駅(半蔵門線・副都心線)及び目黒駅)を除く。

※2 平成 24 年度末時点の駅及び台数。新高円寺駅は平成 25 年度内に運用開始。

### (参考)メトロがすすめる主な自然災害対策

1. 大規模浸水対策
  - (1)換気口からの浸水を防止するための新型浸水防止機の設置
  - (2)駅出入口からの浸水を防止するための出入口改良工事
2. 大地震/耐震対策
 

従来補強不要とされた高架橋柱の耐震補強
3. 帰宅困難者対策
 

非常用飲料水、アルミ製簡易ブランケット及び携帯用トイレ等の配備
4. 災害用自動二輪車の配備
 

被害状況確認、的確・迅速対応のための配備



(イメージ映像)

緊急放送放映時は、映像とともに音声ならびに字幕によって、災害の状況をお知らせいたします。